

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

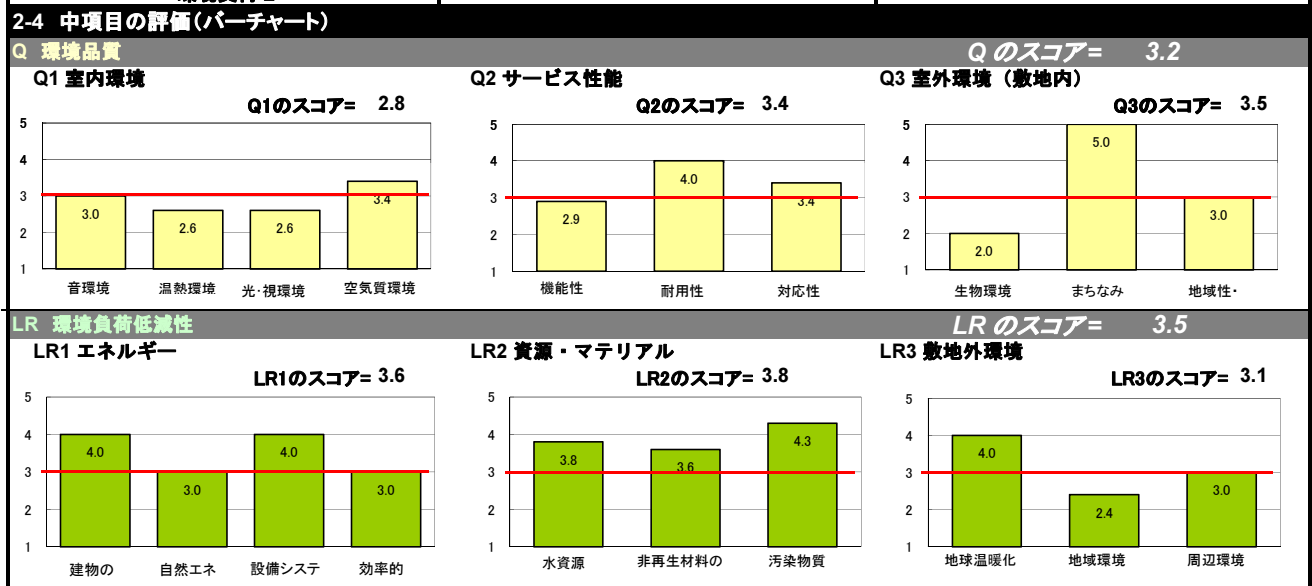
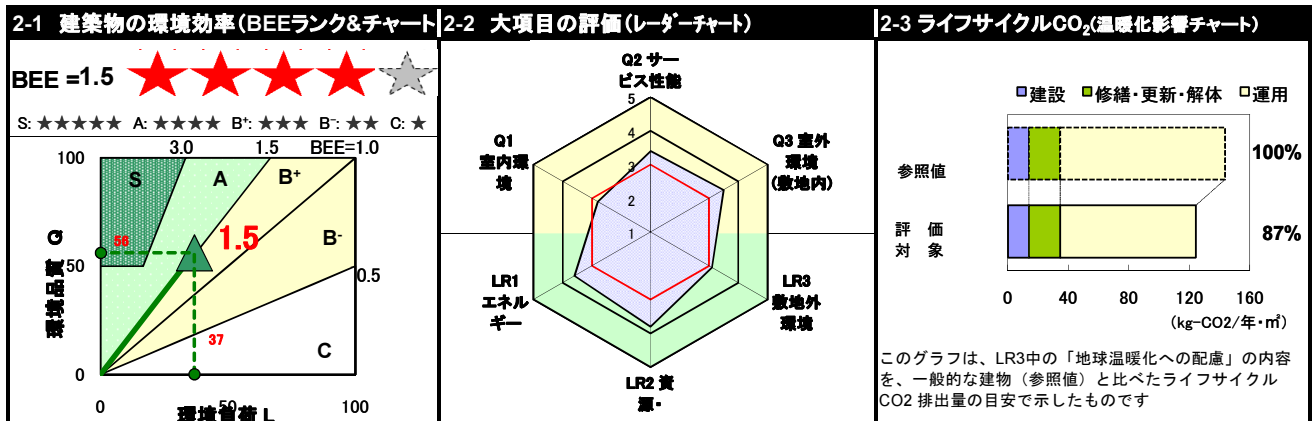
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	京都府中京警察署(仮称)庁舎	階数	地上4F地下1F	
建設地	京都府京都市	構造	RC造	
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年3月31日	
敷地面積	3,965 m ²	作成者	株式会社大建設計	
建築面積	1,776 m ²	確認日		
延床面積	6,970 m ²	確認者		

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
・古都京都の景観形成に寄与する建物デザイン ・警察署庁舎として必要な高い耐震安全性の確保		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
窓サッシへの複層ガラス採用とルーバー設置による熱負	非構造部材や設備を含めた高い耐震安全性の確保	景観形成に配慮した、落ち着いた色調、傾斜屋根・窓
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
太陽光発電、太陽熱給湯の採用	雨水利用システムの導入(植栽散水)	大気汚染物質の排出を極力抑えた設備機器の採用(ビルマルチ式空調システムの採用)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される